

おおふなと 社協だより

ふれあいネットワーク

2016年5月号

【特集】子育てしやすいまちづくりのために

……2~3

地域のお茶飲みサロン応援します……4

笑顔での在宅生活を応援します……5

お知らせ……6~7

輝き人……8



今月の表紙

阿部隆洋さん・玲子さん

弦太くん(小2)・響介くん(小1)

かのんちゃん(4歳)・さゆりちゃん(2歳)

(盛町在住)

かのんちゃんは5/17が

4歳のお誕生日でした!

子育てしやすい まちづくりのために



核家族化や地域のつながりの希薄化などにより、子育てが孤立化し、母親が不安感や負担感を強く感じられるようになってきました。また、子ども同士がかかわり育ちあう機会が減少しています。これらの課題を解決するため、次の三つの事業を実施し、子育てしやすい環境づくりに努めています。

☆つどいの広場 わいわいステーション

(地域子育て支援拠点事業)

子育て中の親子が気軽に集い、他の親子と出会い、交流し、子育ての不安や悩みを相談できる『つどいの広場わいわいステーション』を平成19年7月からY・Sセンターで開設しています。その内容は次の通りです。

1 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

毎週火・土曜日午前10時～午後4時まで(祝日・年末年始除く)0歳から小学校入学前のお子さんと保護者の方が遊んだり、他の親子さんと交流したり楽しく過ごせます。参加費はかかりません。

2 子育て等に関する相談援助の実施

広場スタッフおよび子育て支援専門員や相談員が子育ての悩みなどの相談を行います。

3 地域の子育て関連情報の提供

市内の子育て支援団体や保育園・幼稚園等の情報を掲

4

子育ておよび子育て支援に関する講習等の実施

ベビーマッサージ教室やヨガ教室、折り紙教室などを行っています。

5 その他

ハローワーク大船渡による『働きたいママのための出張お仕事相談会』を月1回行っています。

Y・Sセンターに来られない方のための『おでかけひろば』や他の支援団体と共催して親子向けのイベント等も行っていきます。



☆ファミリーサポートセンター

事業

子育てを地域で相互援助する仕組みです。育児の援助を受けた人で行いたい人が会員となりファミリーサポートセンターが仲介して会員同士で子育てを支えあいます。

【活動例】

保育園への送迎、買い物や通院時、学校の放課後、幼稚園の時間外のおずかり、上の子の学校行事、冠婚葬祭など。

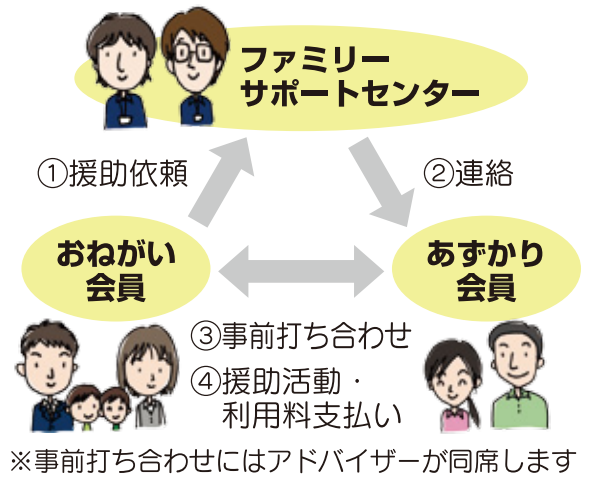
○会員の種類

おねがい会員…大船渡市に住、または勤務先があり、0歳から小学6年生までのお子さんを育てている方。

あずかり会員…大船渡市内に住の心身ともに健康な20歳以上の方。

※ご自宅でお子さんを預かれる方。指定の研修を受けてからの活動になります。

どっちも会員…おねがい会員とあずかり会員を兼ねる方。



☆利用者支援事業

- ①子育て家庭が求めていることを知り、相談に応じます。
- ②保育園や幼稚園、子育て支援サークル等の情報を集め、提供しています。
- ③地域の子育て課題を把握し、解決に必要なサービス等を開発したり、関係機関の連絡調整を行います。

つどいの広場内の『子育て相談室』にて子育て支援専門員と相談員の2名が相談・支援を行っています。秘密は守ります。お気軽にご相談ください。

掲載内容および

子育て支援に関する問合せ先

対応時間

火～土曜日 8:30～17:00
(携帯は出られないときもあります。)



大船渡市社会福祉協議会……………電話 0192-27-0001

子育て支援専門員……………080-9259-8101





(鳥沢仮設サロンの様子)

地域のお茶のみサロン 応援します

「サロン」活動助成事業

募集開始のお知らせ

東日本大震災から5年が経過した大船渡市では、災害公営住宅への入居や、新たな地域での生活を始められた方が多く、新たなコミュニティ作りが必要となっています。

また、高齢者や障がい者が住み慣れた地域の中でいきいきと暮らしていけるような福祉のまちづくりを推進するためのサロン活動を運営するグループに対し、下記のとおり助成事業を実施します。

1 助成対象

- (1) 活動期間
平成28年4月1日から平成29年3月31日まで
- (2) 助成対象
① 大船渡市内でお茶のみサロン（高齢者、障がい者対象）を開催しているグループもしくは開催を考えているグループ
- ② ほかの公的助成を受けていないグループ
- (3) 助成金額
1グループにつき5万円まで
- (4) 助成対象となる経費
活動資材、消耗品費、会議費、研修費、水道光熱費、サロンの飲食費

2 応募方法

- (1) 募集期間
平成28年5月23日（月）～6月20日（月）
- (2) 募集方法
所定の用紙に必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

さい。

※応募書類は事務局で配布しています。

3 助成金の給付

事業完了後、精算報告書の提出をもって助成金を支給しますが、必要に応じて前金払いを行います。

4 報告書の提出

事業完了後、1か月以内に精算報告書を提出してください。



(上富岡ふれあいサロンせせらぎの会の様子)

笑顔での在宅生活を 応援します

介護ステーション



「これからもずっと『自分が産まれ育った家』、『住み慣れた地域』で暮らしたい」。そう思いながらも、病気やけがなどにより、心や体に何らかの問題を抱え、ご自身や家族の力だけでは、自宅で生活することが大変な方は、要介護認定等を受けることで、介護サービスを利用することができます。

「ここからセンター」、市関係機関などと連携・協力し、ご本人、ご家族の笑顔につなげるチームの一員として、これからも活動を展開していきます。



○訪問介護・居宅介護

訪問介護員（ヘルパー）が自宅を訪問し、食事や排せつ、体を清潔に保つための身体的なお世話や、本人お一人では対応が難しい調理、掃除、買物などの家事的な対応をお手伝いします。

できる限りご本人やご家族の意向に沿った援助を行います。医療行為など対応できない援助や利用回数の制限が生じる場合があります。

○訪問入浴介護

看護職員を含めた3名が、給湯機能を装備した車輻で自宅を訪問し、入浴の介助を行います。お湯は車輻から送られ、浴槽は居室内に設置しますので、移動による身体的な負担が少なく、利用者家族がお湯を準備する手間もかかりません。

○居宅介護支援

「今の暮らしをどのように変えたいのか、そして『それを可能にするために何をどうしたら良いのか』、その設計図になるのが介護計画（ケアプラン）です。介護サービスを利用する場合、介護計画の作成が必要となりますが、その作成を支援するのが介護支援専門員（ケアマネジャー）です。介護計画の作成だけではなく、総合的な相談窓口も担います。介護に関わらず、在宅生活での悩みごとがありましたら、一度ご相談ください。



★定例相談も実施

毎週月曜日の午前9時から午後4時まで、Y・Sセンターで相談をお受けしています。

○申込み・問合せ先

岩手県福祉人材センター

沿岸担当キャリア支援員 坂本さん

(☎080-8201-0200)

*子育て関連情報

おでかけひろば

子育て中の方が楽しく集える「おでかけひろば」を開設しています。孫育て中のおじいちゃん、おばあちゃんや、現在妊娠中の方、地域の方のご参加も大歓迎です。ぜひ一度足をお運びください。事前申し込みは不要です。

○開催時間 午前10時から正午まで

※時間内出入り自由です。

○参加費 無料

おでかけひろば日程(平成28年5月～6月)

開催日	会場
5/24(火)	サポートセンターさんそん (三陸町越喜来字杉下 56-4)
25(水)	カリタス大船渡ベース地ノ森いこいの家 (大船渡町字地ノ森 43-2)
6/14(火)	サポートセンター鷗 (大船渡町字明神前 17-3)
17(金)	サポートセンターとみおか (立根町字宮田 50-1)
18(土)	サポートセンターおたすけ (末崎町字平林 67-15)
22(水)	カリタス大船渡ベース地ノ森いこいの家 (大船渡町字地ノ森 43-2)
25(土)	サポートセンターさんそん (三陸町越喜来字杉下 56-4)

ハグモミ

「ハグするようにモミモミする。モミモミしながらお話ししよう。」

カンタン・たのしい・きもちいいコミュニケーションの時間です。

○日時 6月9日(木)

10時30分から11時30分

○場所 大船渡市Y・Sセンター教養娯楽室

○講師 下川美幸さん(ハグモミインストラクター)

○参加費 無料

○定員 10名程度(申込不要)

「募集」「イベント」「お知らせ」など暮らしに役立つ情報をお届けします。

お知らせ

申込み・お問合せ先 大船渡市社会福祉協議会 ☎0192(27)0001(代表)

*支えあいまちづくり事業情報

陽だまりサロン

ひとり暮らしや日中ひとりで退屈だと感じているご高齢の方などが、気軽に集まれるお茶のみの場として「陽だまりサロン」を開催しています。

お茶を飲んだり、手や体を動かしながらおしゃべりをして楽しい時間を過ごしてみませんか?ご近所お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

○開催時間 午前10時から正午まで

(猪川地区公民館は午後1時まで)

○内容 血圧測定、軽体操、手芸、ゲームなど

○参加費 無料

陽だまりサロン日程(平成28年6月)

開催日	会場
3日(金)	吉浜地区拠点センター
7日(火)	石橋公民館
8日(水)	鷹生公民館
14日(火)	碓石コミュニティセンター
17日(金)	下中井公民館
24日(金)	綾姫ホール
28日(火)	猪川地区公民館

*福祉人材センター情報

福祉のしごと出張相談

6月の相談日は9日、23日

キャリア支援員が資格取得、求人情報や就労支援など各種相談に応じます。

○日時 6月9日(木)、23日(木)の午前10時から正午まで※1人30分程度。

事前予約の方の相談を優先します。

○会場 ハローワーク大船渡

○対象 福祉・介護・保育の仕事や職場に就職を希望する方、または関心のある方

* Y・Sセンターからのお願い

Y・Sセンター駐車場について

駐車場の台数に限りがあり、利用者の皆さまには大変ご迷惑をおかけしております。

ご利用の際には、福祉の里共同駐車場の利用や、できるだけ乗り合わせの上、お越しいただきますようお願いいたします。

なお、盛町のサンリアとY・Sセンターを結ぶ無料の送迎車（定員9名）を運行しておりますので、ご利用ください。

送迎車時刻表

サンリア発	Y・Sセンター発
8:45	10:10
10:15	12:05
12:10	13:15
13:20	14:35
14:40	16:00



* 共同募金情報

平成28年熊本地震義援金募集について

大船渡市共同募金委員会では、被災された方々へのお見舞いのために、義援金募集を行っています。お預かりした義援金は、全額が共同募金会から被災県行政を通じて市町村に送金され、被災された方々にお届けいたします。

○受付期間 平成28年6月30日(木)まで
○受付窓口

大船渡市共同募金委員会

(大船渡市Y・Sセンター内) および
大船渡市社会福祉協議会介護ステーション
(大船渡市総合福祉センター地階)

* 生きがい・健康づくり情報

「キッズ水泳教室」受講生募集

水遊びの楽しさと、安全に遊ぶためのルールを学びましょう。

○日時 5月29日(日)・6月12日(日)
10時30分から11時30分

○場所 大船渡市Y・Sセンターヘルスプール

○対象・定員 気仙管内の5歳～小学1年生
まで 各教室20名

○参加費 無料。ただしプール利用料は実費
(幼児=100円、1年生200円)

○申込み方法 お電話でお申込み下さい。

- 6月号課題 「雨」
- 締め切り
6月3日(金)必着。
1人1句。(自信作をひとつ)
はがき使用。

- 投句先
立根町字下欠 125-12
「Y・Sセンター」内
大船渡市社会福祉協議会
「ふくし川柳」係

- その他
作品によっては、
添削する場合があります。

(評)雑詠をテーマに川柳を考えたものの、いい作品が思い浮かばない。そこで頭を切り替え全く別の作業をする。ある事を忘れて違う事に没頭すると、ふといい作品が生まれることもある。作者はその過程を詠んだのだ。

雑詠も むずかしいなと 草むしり

赤・志田 ト三

《佳作》

天国へカネとモノ無し身軽旅
鹿踊り先祖敬い角しなる
老いの身と洩る背中を押す祭り
年輪に軋む体が語りかけ
ふるさとで孫の帰省をまっている
投稿の後に顔出す自信作
避難所へあつたか御飯届けたい
褒め言葉やる気スイッチオンにさせ
惜しまれて我もなりたいた散るさくら

越・平田 栄夫
立・千葉美於子
立・安居 信子
吉・千葉 元子
大・金山みどり
猪・村上 達男
大・新沼都紀子
末・滝田 澄子
大・岩淵ヨシエ

「ふくし川柳」

課題「雑詠」

富谷英雄 選
投句数12句

輝き人

え さし ゆきこ
江 刺 由紀子 さん (54歳)



特定非営利活動法人「おはなしころりん」理事長。平成15年、市立図書館主催の「読書ボランティア養成講座」の受講生有志で「読書ボランティアおはなしころりん」を結成。絵本や児童書の貸し出しや読み聞かせ講座等を通じ、「読み聞かせ」の力で地域コミュニティの再生に取り組んでいる。平成28年4月、NPO法人化。

本でつながろう！本で心をそだてよう！
みんないっしょに

●月平均30回のおはなし会

「読書活動の推進」を目的として立ち上げた団体なので、実は震災前から月平均で30回、小学校・児童福祉施設・地域公民館などで幅広く読み聞かせをしています。絵本や民話の紙芝居など、その場に合った読み聞かせを行っています。

●成長段階の1つとしての「NPO法人化」

ボランティア団体としての活動が軌道に乗ってきた頃、NPO法人化の準備に本腰を入れようとした矢先に起きた東日本震災。

「事務手続きに時間を割く

くらいなら、とにかく活動を優先させよう」その思いで、震災から2週間後には避難所を巡回し、子どもやお年寄りを対象に読み聞かせを再開しました。

震災から5年。今の時期にNPO法人化したのは、復興支援の活動を継続してきた市外・県外の団体が徐々に減少してきている中で、これからの復興支援は地元の団体が頑張っていくんだという、決意表明の意気込みも込めています。

●「読みつなぎ」を提唱します

子どもから大人、お年寄り、みんながつながっていくための一つの手段としての

「読み聞かせ」。読み聞かせ活動で笑顔や元気をつなげていく「読みつなぎ」を提唱しています。気仙の民話で昔話に花を咲かせたり、絵本で子どもたちの心を育んだり。地方のおばちゃん集団がつくりだす地道な活動が、きっと地域社会を変える小さな風を起すこと信じています。

